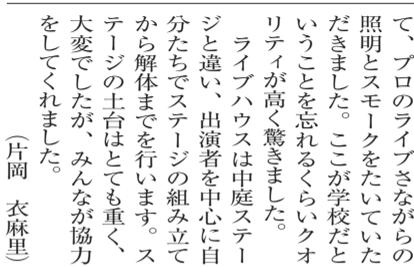


文化祭

今年度は昨年度までと異なり、多くの企画を行うことが出来た。特に変化した点は、食品企画とライブハウスが復活したこと、そして保護者のみならず、多くの人を迎え入れて開催されたこと。食品企画の再開に当たって、執行委員で多くの方を話し合いました。コロナウイルスの影響で食品企画の前例を知らない私たちに、実現可能な企画の判断や金券の発行によるトラブル防止マニュアルの作成は、とても大変でした。しかし、生徒一人一人がマニュアルに則って動くことで、大きなトラブルが起きず、文化祭を開催できたことに執行委員一同でも感謝しています。また、ライブハウスではバンドを始めとするステージを行いました。ここでは、観客、出演者が出ず熱気に包まれており、秋という少し肌寒い季節を感じさせないほど盛り上がりを見せていました。

復活！ライブハウス

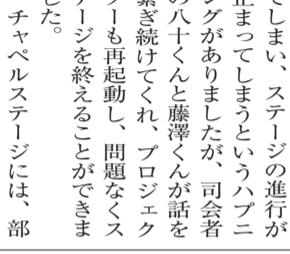
今年度は十一月三日の一般公開の日に、四年振りにライブハウスを開催することができました。有志団体が十団体出演してくれました。今年度はバンドだけでなく、弾き語りやダンス、歌、ラップなど様々な団体が出演しました。ライブハウスのスペースの



（片岡 衣麻里）

校内ステージ

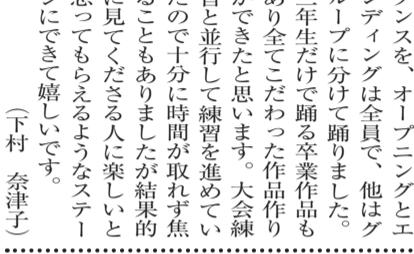
今年度は、十一月二日に礼拝堂で全校生徒が鑑賞する校内ステージを、十一月三日の一般公開の日に、礼拝堂でも開催することができました。校内ステージには、選択授業団体・部活動団体合わせて八団体が出演してくれました。今年度から新たな演出を加えてくれた団体もあり、個性豊かなステージを作り上げてくれました。加えて、一ヶ月以上前から司会者を募集し、ミーティングを重ね、幕間にアカペラでの歌唱、プレゼンなど企画、動画発表を行いました。とてもバラエティ豊かな礼拝堂ステージにすることができました。また、ステージ中にプロジェクターが故障してしまい、ステージの進行が止まってしまうというハプニングがありました。司会者の八十人と藤澤くんが話を繋ぎ続けてくれ、プロジェクターも再起動し、問題なくステージを終えることができました。



（前田 悠翔）

最優秀ステージ

我々ダンス部は顧問の指導の元、日々練習に励んでいました。文化祭のステージでは大会とは違ったジャンルのダンスを、オープニングとエンディングは全員で、他はグループに分けて踊りました。三年生だけで踊る卒業作品もあり全てこだわった作品作りができたと思います。大会練習と並行して練習を進めていたので十分に時間が取れず焦ることもありました。結果的に見てくださる人に楽しんでいただけて嬉しそうです。



（下村 奈津子）

炎の体育会K.G

炎の体育会K.Gは学年ごとの縦の結びつきを強化すること、運営等において生徒が活躍する場を設けることで生徒全員の親睦を深めて学校全体の一団感を生み出すことをコンセプトに企画・準備・運営をしてきました。行事を終えて感じたことは、生徒のみなさんが競技に対して真剣に向き合い盛り上げてくれたり、たくさんのスタッフが協力してくれたり、スタッフ以外の生徒が助けたり、理想を超える行事となりました。また前先生をはじめとする準備段階から当日、その後もアドバイスや指導、運営などを助けていただいた先生

方本当に感謝しています。私たちの次の目標はこの炎の体育会K.Gが恒例行事として受け継がれていくことです。みなさんがこの行事を関西学院高等学校の伝統として築いていくことを願っています。炎の体育会K.Gは全員共通の目標です。この学年の行事を準備し始めたのは一年前の十一月ごろのことです。先生方に様々なご意見を伺い、常に試行錯誤を繰り返して、アリーナを学校として借りることができ、学校側でも公式に日程を確保していただき、ついに本格的に活動が開始しました。何度も先生方に指摘をしていただき、何度も企画書をはねかえされ、厳しい言葉を幾度となくいただきました。何百という時間をかけて、数えきれないほどの企画書や資料を作成し、沢山の連携を重ね、本当に全員が疲労困憊状態でした。ですが当日、大きな声援が聞こえ、笑い声が聞こえ、笑顔の絶えない高等部生を見ました。何百という時間をかけて、数えきれないほどの企画書や資料を作成し、沢山の連携を重ね、本当に全員が疲労困憊状態でした。

スポーツ大会

今回のスポーツ大会では横の繋がりを意識し、各クラスごとの絆を深めようとした。競技は球技をメインにサッカー、バスケットボール、ドッジボール、リレーと四競技を実施しました。当日は盛り上がり、クラスの絆が深まったと思います。炎の体育会K.Gでは当日までの企画、準備を学友会本部が前先生他先生方の力を借りながら進めて行きました。しかし今回は一二年生からスポーツ大会委員を募集し、学友会本部とスポーツ大会委員が一緒に企画、準備、運営を行いました。学友会本部がこれまでの企画などの経験を活用して、スムーズに準備することができました。企画途中各クラスの椅子移動によって実施時間の短縮をしなければいけなくなりました。当日は自分で浴衣を着付けることにも挑戦し、カフェだけでなく和室でお点前の披露も行いました。部員同士の仲がより深まり、目標としていた先輩方の最高売上も超えることができて達成感に溢れる文化祭になりました。

今年度は十一月三日の一般公開の日に、四年振りにライブハウスを開催することができました。有志団体が十団体出演してくれました。今年度はバンドだけでなく、弾き語りやダンス、歌、ラップなど様々な団体が出演しました。ライブハウスのスペースの

新会長挨拶

二年生組 笹田 桃子
この度、二〇二四年度学友会会長になりました。二年の笹田桃子です。私は一年生の五月から学友会執行委員として二年生では学友会総務として学友会活動をしてきました。なぜ私が学友会活動をしているかというと、それは、やりがいを感じるからです。この「やりがい」というのは、企画を考えて実行し、その後に参加してくれた生徒から「楽しかった、企画お疲れ様でした」といった言葉にかけてもらえた時に感じます。学友会活動をしていて初めて感じたことは、去年までグリーンクラブに所属し、歌って、歌って、歌う日々を過ごしていましたが、そんな私がなぜ学友会副会長になろうと思ったのか。それは、私が高等部で感じた「生徒と学友会長の間にある温度差とずれ」を自分自身がその生徒と学友会長の間に近づけたいと思ったからです。

「新副会長挨拶」
二年A組 有光 慶
学友会副会長に就任いたしました有光慶です。私は、去年までグリーンクラブに所属し、歌って、歌って、歌う日々を過ごしていましたが、そんな私がなぜ学友会副会長になろうと思ったのか。それは、私が高等部で感じた「生徒と学友会長の間にある温度差とずれ」を自分自身がその生徒と学友会長の間に近づけたいと思ったからです。

最優秀クラス展示

三年I組はチャイナカフェをコンセプトに、小籠包と王老吉という中国で大人気と言われている缶ジュースを販売しました。準備期間には教室内に二段の回転テーブルや大きなパンダを、入口出口に中華門を作るなど内外装にもこだわりました。クラス全員が頑張りました。クラス全員が頑張りました。クラス全員が頑張りました。

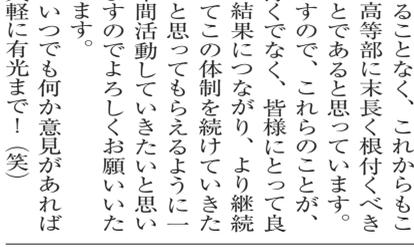
今年度は十一月三日の一般公開の日に、四年振りにライブハウスを開催することができました。有志団体が十団体出演してくれました。今年度はバンドだけでなく、弾き語りやダンス、歌、ラップなど様々な団体が出演しました。ライブハウスのスペースの

新副会長挨拶

二年A組 有光 慶
学友会副会長に就任いたしました有光慶です。私は、去年までグリーンクラブに所属し、歌って、歌って、歌う日々を過ごしていましたが、そんな私がなぜ学友会副会長になろうと思ったのか。それは、私が高等部で感じた「生徒と学友会長の間にある温度差とずれ」を自分自身がその生徒と学友会長の間に近づけたいと思ったからです。

「新副会長挨拶」
二年A組 有光 慶
学友会副会長に就任いたしました有光慶です。私は、去年までグリーンクラブに所属し、歌って、歌って、歌う日々を過ごしていましたが、そんな私がなぜ学友会副会長になろうと思ったのか。それは、私が高等部で感じた「生徒と学友会長の間にある温度差とずれ」を自分自身がその生徒と学友会長の間に近づけたいと思ったからです。

今年度は十一月三日の一般公開の日に、四年振りにライブハウスを開催することができました。有志団体が十団体出演してくれました。今年度はバンドだけでなく、弾き語りやダンス、歌、ラップなど様々な団体が出演しました。ライブハウスのスペースの



（山崎 瑛介）

今年度は十一月三日の一般公開の日に、四年振りにライブハウスを開催することができました。有志団体が十団体出演してくれました。今年度はバンドだけでなく、弾き語りやダンス、歌、ラップなど様々な団体が出演しました。ライブハウスのスペースの

今年度は十一月三日の一般公開の日に、四年振りにライブハウスを開催することができました。有志団体が十団体出演してくれました。今年度はバンドだけでなく、弾き語りやダンス、歌、ラップなど様々な団体が出演しました。ライブハウスのスペースの

今年度は十一月三日の一般公開の日に、四年振りにライブハウスを開催することができました。有志団体が十団体出演してくれました。今年度はバンドだけでなく、弾き語りやダンス、歌、ラップなど様々な団体が出演しました。ライブハウスのスペースの

今年度は十一月三日の一般公開の日に、四年振りにライブハウスを開催することができました。有志団体が十団体出演してくれました。今年度はバンドだけでなく、弾き語りやダンス、歌、ラップなど様々な団体が出演しました。ライブハウスのスペースの

今年度は十一月三日の一般公開の日に、四年振りにライブハウスを開催することができました。有志団体が十団体出演してくれました。今年度はバンドだけでなく、弾き語りやダンス、歌、ラップなど様々な団体が出演しました。ライブハウスのスペースの

今年度は十一月三日の一般公開の日に、四年振りにライブハウスを開催することができました。有志団体が十団体出演してくれました。今年度はバンドだけでなく、弾き語りやダンス、歌、ラップなど様々な団体が出演しました。ライブハウスのスペースの

今年度は十一月三日の一般公開の日に、四年振りにライブハウスを開催することができました。有志団体が十団体出演してくれました。今年度はバンドだけでなく、弾き語りやダンス、歌、ラップなど様々な団体が出演しました。ライブハウスのスペースの

クラブ活動報告

◆運動総部◆

◆サッカー部◆

全国大会出場、Aチームはプリンスリーグ二部昇格、Bチームは県リーグ二部昇格を目標に掲げて活動しました。



(主将 岸本 晴人)

◆男子バスケットボール部◆

十一月に行われた全国高校選手権大会県予選において、準決勝にて育英高校に敗れたものの三位決定戦で尼崎双星に勝ちました。

◆女子バスケットボール部◆

一年十一人、二年九人で毎週五、六日練習しています。生徒自身が練習メニューを考え、互いにアドバイスを声を掛け合いながら練習を行っています。

◆陸上競技部◆

【夏休み以降の主な試合結果】◎県ユース(一、二年別)大会 男子四×四〇〇m R六位

◆野球部◆

甲子園出場を目標に日々練習を頑張っています。スローガンとして全員野球を掲げ、チームメイトと時には注意しあっています。



(主将 坂田 知世)

◆水泳部◆

◎高校総体 男子総合四位、女子総合五位 ◎インターハイ(北海道) 男子一〇〇m・二〇〇m 青泳ぎ 田中 秀路 出場

◆ラグビー部◆

【執】をスローガンに掲げ、花園出場へ向けて活動してきました。春の全国選抜大会や夏の七人制ラグビー全国大会、オーストラリア遠征などに貴重な経験をさせていただき、花園出場の目標を達成することはできませんでしたが心を一つに戦えました。

◆柔道部◆

二年正井を中心に男子十名、女子十二名の新しいチームで日々活動中です。八月阪神夏季大会、九月阪神新人戦、十月私学大会、十一月の県新人戦に出場しました。

◆男子バレーボール部◆

三年六人、二年十人、一年十七人で顧問の福嶋・豊嶋先生と外部コーチの指導のもと、新チームとして練習に取り組んでいました。

◆女子バレーボール部◆

六月から新チームが始まりました。夏の大会では勝ち進むことができませんでしたが、部員全員がもっと上手くなりたいと強く思い、たくさんの方々の指導にも恵まれ、秋のリーグ戦では優勝、市内大会三位、新人予選では県大会出場を決めることが出来ました。

◆テニス部◆

十月末の新人戦は男女共に出場し、男子は上位四校による決勝リーグまで勝ち進み、たが神戸野田高校に惜敗し三位、女子は創部初の県大会本戦出場を果たしました。



(顧問 池)

◆卓球部◆

昨秋の新人戦で、田中、下門、青木がシングルス、下門・長谷川ペア、田中・吉田ペアのダブルス、男女団体、それぞれが県出場を果たしました。

◆剣道部◆

◎近畿総体 個人ベスト八 本郷・宮野 ◎全国高校総体 本郷 出場 ◎阪神新人大会 五郎川 三位 森下 ◎男子個人準優勝 三浦 ◎男子団体優勝 女子個人ベスト八 五郎川 ◎新人大会 女子個人ベスト八 三浦・深町

◆アメリカンフットボール部◆

“Stay Focused”というスローガンを掲げ日本一を目指し戦ってきました。試行錯誤や苦勞が実り、春は四年振りに関西大会優勝を果たしました。

◆宗教総部◆

◆宗教部研究班◆

今年度の研究班はクリスマス文化をテーマに研究しました。世界のクリスマス伝統料理を作り、専門知識を持つ方を講師に招いて勉強会を開きました。

◆サービスリーダーズ◆

応援活動をはじめ、文化祭でのステージなど多くの経験をさせていただけでありません。十二月より二十七名の新体制が始まります。



(顧問 澤田)

◆文化総部◆

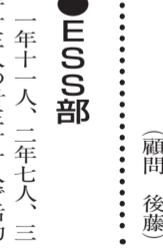
「八面玲瓏」をスローガンに二年十七名、一年二十五名計四十二名で活動しています。



(部長 森河 莉旺)

◆吹奏楽部◆

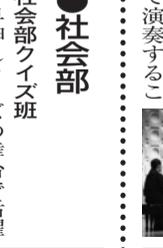
「八面玲瓏」をスローガンに二年十七名、一年二十五名計四十二名で活動しています。



(顧問 後藤)

◆ESS部◆

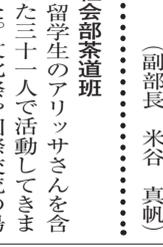
一年十一人、二年七人、三年十三人の計三十一人で活動してきました。仲良く楽しく英語力を向上させることをモットーに活動に取り組んでいます。



(部長 太田 彩音)

◆数理学部◆

文化祭で数学謎解きと淹れたてコーヒーを提供する喫茶店をしました。Webサイトを用いて謎解きを配信することで、多くの方に楽しんでもらえました。



(部長 野口 称梧)

◆美術部◆

二年一名、一年三名計四名で今年度活動してきました。油絵の個人作品制作を中心に、部員それぞれ二つずつ作品を描き上げました。



(部長 安富 瑠夏)

◆コンピュータ部◆

ロボカップジュニア関西ブロック大会のサッカロボ部門にて、ロケットウェイト部門にて、ロボット班の三年河野と二年奥山が奨励賞を受賞しました。

(部長 長谷川 純治)

◆社会部◆

社会部クイズ班 早押しクイズの舞台で活躍することを目標に、日々知識の蓄積や練習に勤しんできました。

(部長 川岸 蒼彰)

◆グリークラブ◆

一月二十一日に関西学院中 央講堂にて定期演奏会「ファミリコンサート」を開催しました。

(副部長 米谷 真帆)

◆社会部茶道班◆

留学生のアリッサさんを含めた三十一人で活動してきました。文化祭や国際交流の場面でお点前を披露するために練習を続けてきました。

(部長 安富 瑠夏)

◆写真部◆

県総合文化祭では二年小畑、竹前、橋本、三宅、一年杉浦、寺西、間の七名が阪神地区予選で入選し、県本選へと進みました。

(顧問 三木)

◆写真部◆

県総合文化祭では二年小畑、竹前、橋本、三宅、一年杉浦、寺西、間の七名が阪神地区予選で入選し、県本選へと進みました。

(顧問 三木)

◆吹奏楽部◆

「八面玲瓏」をスローガンに二年十七名、一年二十五名計四十二名で活動しています。

(顧問 後藤)

◆ESS部◆

一年十一人、二年七人、三年十三人の計三十一人で活動してきました。

(部長 太田 彩音)

◆数理学部◆

文化祭で数学謎解きと淹れたてコーヒーを提供する喫茶店をしました。

(部長 野口 称梧)

◆美術部◆

二年一名、一年三名計四名で今年度活動してきました。

(部長 安富 瑠夏)

◆コンピュータ部◆

ロボカップジュニア関西ブロック大会のサッカロボ部門にて、ロケットウェイト部門にて、ロボット班の三年河野と二年奥山が奨励賞を受賞しました。

(部長 長谷川 純治)

◆社会部◆

社会部クイズ班 早押しクイズの舞台で活躍することを目標に、日々知識の蓄積や練習に勤しんできました。

(部長 川岸 蒼彰)

◆グリークラブ◆

一月二十一日に関西学院中 央講堂にて定期演奏会「ファミリコンサート」を開催しました。

(副部長 米谷 真帆)

◆社会部茶道班◆

留学生のアリッサさんを含めた三十一人で活動してきました。

(部長 安富 瑠夏)

◆写真部◆

県総合文化祭では二年小畑、竹前、橋本、三宅、一年杉浦、寺西、間の七名が阪神地区予選で入選し、県本選へと進みました。

(顧問 三木)

◆吹奏楽部◆

「八面玲瓏」をスローガンに二年十七名、一年二十五名計四十二名で活動しています。

(顧問 後藤)

◆ESS部◆

一年十一人、二年七人、三年十三人の計三十一人で活動してきました。

(部長 太田 彩音)

◆数理学部◆

文化祭で数学謎解きと淹れたてコーヒーを提供する喫茶店をしました。

(部長 野口 称梧)

◆美術部◆

二年一名、一年三名計四名で今年度活動してきました。

(部長 安富 瑠夏)

◆コンピュータ部◆

ロボカップジュニア関西ブロック大会のサッカロボ部門にて、ロケットウェイト部門にて、ロボット班の三年河野と二年奥山が奨励賞を受賞しました。

(部長 長谷川 純治)

◆社会部◆

社会部クイズ班 早押しクイズの舞台で活躍することを目標に、日々知識の蓄積や練習に勤しんできました。

(部長 川岸 蒼彰)

◆グリークラブ◆

一月二十一日に関西学院中 央講堂にて定期演奏会「ファミリコンサート」を開催しました。

(副部長 米谷 真帆)

◆社会部茶道班◆

留学生のアリッサさんを含めた三十一人で活動してきました。

(部長 安富 瑠夏)

各学年一年間の歩み

一年生

Festina lente ゆっくり急げを学年目標としてスタートした一年生は、歩みはゆっくりでありながらも、焦ることなく着実に学校行事を一つ一つこなし、充実した学校生活を送ってきました。



コロナ禍の制限から解放され、校外HRでは高校生活で初めての宿泊行事を経験し、教室の中では味わえないひと時を級友達と過ごすことができました。二期は学校行事が目押しで、炎の体育会KGでは学年を超えての交流を味わい、文化祭期間ではスポーツ大会とクラス展示でクラスの絆を深めました。HRや中休みを使った人権プログラムでは、学年とクラス単位でいじめや性の多様性などの社会課題について掘り下げた探究プログラムでは、体育館で九クラス合同でチームビルディングに繋がるワークに挑戦し、さらにHRクラスで担任の先生と一緒にSDGsカードゲームを体験して考えて行動を起こすことを学びました。三期は二年生に向けて、地域探究の下地を整えていくため、様々な取り組みが待っています。二年生ではクラス替えもあり、この三期は授業やHRだけでなく、進路講演会や遠足などの学年行事を通じて、級友たちの時間を楽しんで、交流をさらに深めていってほしいと思います。そして学年として培った団結力を、コース別の修学旅行を中心とする様々な二年生の学校行事の中で、大いに発揮してくれることを期待しております。

二年生

「光」二年生の学年目標です。高等部内において自身で輝きを感じ、「光」を放つ存在として充実した毎日を送ってほしいという想いで、新入生を四月に迎え先輩にもなった皆さんは遅くも見えませんでした。六月「ソーシャル探究プログラム」の締めくくりとして近隣の六市に分かれ訪問、それぞれの班からのプレゼンテーションを聞き、学年最優秀班も自分たちで決めました。遠足では、全ての行動を自分たちで決めて散策する姿に担任団は心強くも見えました。九月「炎の体育会KG」として二年生のメソッドも要職を担ってくれました。十一月文化祭では明らかに昨年より成長したクラス展、そして、自分たちが本気で高等部に光を届けなければならぬという覚悟で、学友会長はじめ役員も決まりだし、七十七期生の再スタートをきったところです。二年生の最大イベントでもあるスキー旅行は皆さんがきつと「光」輝けることでしょう。その前に、卒業していく三年生諸先輩方から「君たちに高等部を任せて大丈夫！」と太鼓判を押してもらえさらなる成長を期待します。



九月六日、神戸グリーンアリーナで学友会企画の「炎の体育会KG」が行われました。七月からの延期、二期期始業式から二日後の実施、しかも初めての行事でしたが、三年生をクラス毎に縦割りにし、高等部全体の親睦を深めるという目標を十分に達成できたと思います。司会、進行実況はもちろん、高三から約六〇名が当日スタッフとして関わり、縁の下力持ちとしても活躍しました。



十月十一日のスポーツ大会、文化祭期間は高校生活最後の大きな学校行事となり、今年度は四年ぶりに全生徒がチャペルに集結し、開会式、校内ステージから文芸祭がスタート。三年選択授業「器楽・声楽・ダンス」など四月から取り組み始めたとは思えない、素晴らしいパフォーマンスを披露してくれました。歓声あり、笑いあり、



コール&レスポンスあり、久しぶりの一体感を味わいました！また三日の当日は一般公開され、食品販売、ライブハウスも解禁。どのクラスも個性的なコンセプト、内装を凝らし、お客様の行列で賑わう一日となりました。



十二月に通常授業、学年末考査を終え、一月は三期プログラムを行いました。卒業論文のクラス内発表では限られた時間ではありますが、全員がパワーポイントなどに内容をまとめ、プレゼンをしました。最後にクラス代表を決め、チャペルにて学年全員の前で発表。個性あふれる内容で、三年間の学びの締め括りにふさわしいプログラムとなりました。

退職される先生方

デルミンダニエル先生 (宣教師・英語科)



一九九九年五月に私はカナダの大学院を終えて、自分の育った日本に帰ってきた。帰国する前に、まず考えたのは妻と一歳半の娘と、そしてお腹の中にいた息子との生活のことだ。大学院で聖書の原語であるヘブライ語とギリシャ語を研究し、将来は牧師になりたいと思っていた私だが、とにかく収入を得るためには英語を教えるのが手取り早い。そんなことを思っていた時に、関西学院高等部でATEを募集していると聞き、応募し面接に行き、高等部に初めて足を踏み入れた。しかしその時は残念ながら不採用。仕方がないので、英会話スクールの仕事を始めた。



また、教職員の方々はもちろん、掃除の方々や剪定、修繕の職人の方々、そして警備員の方々にお世話になりました。また色々教えていただいた。私は五十歳を過ぎ、次の「進路」としてスウェーデンに移住し「一応」母国ではあるが、人生の大半を日本で過ごしてきたので、スウェーデンには「帰国」ではなく「移住」が一番しっくりくる。教会が聖書学校で仕事をしながら、牧師になるプロセスを始めることになった。

留学生

ロイロボーイズ卒業公演

我々ロイロボーイズ三期生は二〇二三年六月上旬から活動を開始しました。そのメンバーの中にはダンス経験者も一人もいませんでした。文化祭やオープンハイスクールでの公演を経験し、集大成として迎えたのがロイロボーイズ五周年記念公演です。この公演は演者と裏方を合わせ総勢百名にのぼり、今まで経験したどの公演よりも壮大なものに感じました。学年や部活動、性別の隔たりを越えて一体となれる高等部の魅力を最大限に表現できた素晴らしいステ



ージを作り上げることができました。高等部卒業を間近に控えた時期にこのような素晴らしい体験ができたことを誇りに思います。この公演に携わってくださった全ての関係者の方々に感謝申し上げます。(三年E組 佐渡 大晟)

リアム(Liam Ricketson)君より



関西学院高等部に入学してまだ二ヶ月ですが、とても長く通っていたように感じます。校歌を歌うこと、電車に乗ること、部活がある生活にも慣れてきて、ここの全てから本

アリッサ(Alyssa Lester)さんより



「What is Kwanssei?」毎朝、駅での広告を見ました。初めは「あれ？学校のことがない？」と思い、五ヶ月くらい考え続けました。「クワンセイは何だろう？クワンセイ学院は私の学校だね。クワ

ンセイ学院はアリッサの友達といつもいる場所だね」と思うようになりました。今はちょうど七ヶ月経ちました。「アリッサ、クワンセイは何だろう？」答えが分かりました。クワンセイ学院は学校だけじゃありません。クワンセイ学院は場所だけじゃありません。クワンセイ学院はアリスの「大好きな場所」です。「一番好き」です。クワンセイは私です。私の友達や、先生も。私達はクワンセイです。先生達、生徒の皆さん、ありがとう。学校のこと、私の留学は本当に最高でした、あなた達がいってくれたからです。日本でも、外国でも、Stay Kwanssei!

「進路」としてスウェーデンに移住し「一応」母国ではあるが、人生の大半を日本で過ごしてきたので、スウェーデンには「帰国」ではなく「移住」が一番しっくりくる。教会が聖書学校で仕事をしながら、牧師になるプロセスを始めることになった。

また、教職員の方々はもちろん、掃除の方々や剪定、修繕の職人の方々、そして警備員の方々にお世話になりました。また色々教えていただいた。私は五十歳を過ぎ、次の「進路」としてスウェーデンに移住し「一応」母国ではあるが、人生の大半を日本で過ごしてきたので、スウェーデンには「帰国」ではなく「移住」が一番しっくりくる。教会が聖書学校で仕事をしながら、牧師になるプロセスを始めることになった。

また、教職員の方々はもちろん、掃除の方々や剪定、修繕の職人の方々、そして警備員の方々にお世話になりました。また色々教えていただいた。私は五十歳を過ぎ、次の「進路」としてスウェーデンに移住し「一応」母国ではあるが、人生の大半を日本で過ごしてきたので、スウェーデンには「帰国」ではなく「移住」が一番しっくりくる。教会が聖書学校で仕事をしながら、牧師になるプロセスを始めることになった。

また、教職員の方々はもちろん、掃除の方々や剪定、修繕の職人の方々、そして警備員の方々にお世話になりました。また色々教えていただいた。私は五十歳を過ぎ、次の「進路」としてスウェーデンに移住し「一応」母国ではあるが、人生の大半を日本で過ごしてきたので、スウェーデンには「帰国」ではなく「移住」が一番しっくりくる。教会が聖書学校で仕事をしながら、牧師になるプロセスを始めることになった。

また、教職員の方々はもちろん、掃除の方々や剪定、修繕の職人の方々、そして警備員の方々にお世話になりました。また色々教えていただいた。私は五十歳を過ぎ、次の「進路」としてスウェーデンに移住し「一応」母国ではあるが、人生の大半を日本で過ごしてきたので、スウェーデンには「帰国」ではなく「移住」が一番しっくりくる。教会が聖書学校で仕事をしながら、牧師になるプロセスを始めることになった。

また、教職員の方々はもちろん、掃除の方々や剪定、修繕の職人の方々、そして警備員の方々にお世話になりました。また色々教えていただいた。私は五十歳を過ぎ、次の「進路」としてスウェーデンに移住し「一応」母国ではあるが、人生の大半を日本で過ごしてきたので、スウェーデンには「帰国」ではなく「移住」が一番しっくりくる。教会が聖書学校で仕事をしながら、牧師になるプロセスを始めることになった。

また、教職員の方々はもちろん、掃除の方々や剪定、修繕の職人の方々、そして警備員の方々にお世話になりました。また色々教えていただいた。私は五十歳を過ぎ、次の「進路」としてスウェーデンに移住し「一応」母国ではあるが、人生の大半を日本で過ごしてきたので、スウェーデンには「帰国」ではなく「移住」が一番しっくりくる。教会が聖書学校で仕事をしながら、牧師になるプロセスを始めることになった。

また、教職員の方々はもちろん、掃除の方々や剪定、修繕の職人の方々、そして警備員の方々にお世話になりました。また色々教えていただいた。私は五十歳を過ぎ、次の「進路」としてスウェーデンに移住し「一応」母国ではあるが、人生の大半を日本で過ごしてきたので、スウェーデンには「帰国」ではなく「移住」が一番しっくりくる。教会が聖書学校で仕事をしながら、牧師になるプロセスを始めることになった。